

令和5年度塩尻市行政評価委員会評価結果

日時 令和6年1月9日（火）午後1時半～
場所 塩尻市役所本庁舎 3階 庁議室

○令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の評価

1 地域におけるデジタル人材活用×DX推進事業

- ・KPI 達成見込みであることについて確認した。
- ・素晴らしい取り組みをしていることがよくわかったが、取り組みが市民に届いていない面もある。core 塩尻の取り組み内容をもっと PR し、市民のシビックプライドを醸成するべきである。
- ・KADO のデジタル人材が DX 推進に貢献するというつながりが良く理解できた。
- ・交流スペースで勉強する子どもたちが e スポーツ体験をできるような仕掛けがあると、関心と意欲が湧くのではないか。
- ・事業が単独ではなく他の事業とつながりを持って行われており、その事業がゴールではなく、その先のビジョンを描けていることが評価できる。
- ・地域とのコラボレーションや取り組みの領域を広げていくとよい。
- ・DX の本質は格差是正だと考えている。交通のほか、健康や教育は DX に取り組むべき大きなテーマだと思う。

2 官民共創による塩尻型 MaaS 構築事業

- ・未達成見込みの KPI 「市が提供する地域公共交通サービスの利用者数」について新型コロナウイルス感染症等の影響から外出機会が減少していることについて確認した。
- ・「地域人材のプロジェクト参加者数」の KPI は達成していないものの、運営体制の構築や今後も継続的に地域人材を活用し、翌年度以降達成に向けて進めていくことを確認した。
- ・その他 KPI 達成見込みであることについて確認した。
- ・のり一と塩尻等のキャッシュレス対応を検討してもらいたい。
- ・地域の交通最適化のためにデータを集めて数値化して分析を行い課題解決に努めていただきたい。
- ・インフラ整備は行政主導で行うべきであると思う。地域が連携してこの取り組みをしっかりとやってもらいたい。
- ・モードの違う交通サービスをダッシュボードに載せることができれば新たな発見があると思う。
- ・公共交通の利用者が迷うことなくスムーズに移動できる仕組みを目指して事業構築を進めてもらいたい。

3 社会的企業を育てる環境整備による人材還流事業

・未達成見込みの KPI「新たに生まれたソーシャルビジネスの数（法人数）」は、自身が手掛ける取り組みを将来どうしていくか」伴走支援を関係機関と連携により行うことを確認した。

その他 KPI 達成見込みであることについて確認した。

・活気と自由のある空間が創出されている。採算重視の民間ではできないことを実現しているという印象を受けているため、ぜひ続けてもらいたい。

・年数を重ねると関わる人が固定化されやすいので、新たなプレーヤーを増やしていけると良い。

・若年層からの起業家教育がとても大事だと感じており、力を入れてもらいたい。高校生だけではなく小・中学生のうちからキャリア教育等を通じて輝ける場を作っていくことによって、子どもたちが 10 年後、20 年後にこの地域で起業したいという循環になってくると考える。